

大規模災害発生時における初動対応タイムライン（案）

R2.3.13 企画調査担当課長会議資料

	土木建築部		土木事務所	防災エキスパート (BEG)	大分県測量設計 コンサルタンツ協会(OCA)
	建設政策課	各事業課・未被災事務所			
平常時	<ul style="list-style-type: none"> ●部内支援に向け、派遣者リストの整備 →各段階に応じた派遣者リストの整備 ●BEG、OCAとの防災協定締結【H29.1.18締結】 	<ul style="list-style-type: none"> ●部内支援に向け、派遣候補者の選定 →各段階に応じた派遣候補者選定 			
気象警報 発令	<ul style="list-style-type: none"> ●水防体制 	<ul style="list-style-type: none"> ●水防体制【河川課】 	<ul style="list-style-type: none"> ●想定する被害規模に応じ、部内支援やBEG、OCAの初動調査の是非を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●事務局からBEG代表に準備を要請 	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模災害発生に備え協会の準備開始
大規模災害発生 (当日)	<ul style="list-style-type: none"> ●水防体制継続 ●状況把握 	<ul style="list-style-type: none"> ●水防体制継続【各課】 ●状況把握【各課】 	<ul style="list-style-type: none"> ●水防体制継続 ●状況把握 		
被災翌日 1日目	<ul style="list-style-type: none"> ●災害規模に応じて部内支援体制【Lv1】を検討 →部内各事業課、未被災事務所に協力要請 ●事務所の要請を受け、BEG、OCAの支援を検討 ●BEG、OCA各事務局と出動の是非を協議 	<ul style="list-style-type: none"> ●部内支援体制【Lv1】の派遣者確保【各課、各事務所】 ●災害報告《概報》【河川課】 	<ul style="list-style-type: none"> ●被災規模に応じて、部内支援を要請 ●被災状況を把握に向け、BEG、OCAの派遣を要請 ※この時点での事務所の主な業務 ・被害状況の把握 ・災害申請に向けた調査開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●建設政策課と出動の是非を協議 ●出動可能者の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ●建設政策課と出動の是非を協議 ●出動可能な協会員を選定
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ●部内支援体制【Lv1】の人員を決定 →派遣事務所長へ通知 ●BEG、OCAへの派遣要請を決定 →被災規模に応じて派遣先、必要な人員を検討 		<ul style="list-style-type: none"> ●派遣決定を受け、所内の受入体制を整備 →対応者の選定、会議室の確保等 ●BEG、OCA各担当者と作業内容確認 	<ul style="list-style-type: none"> ●派遣先、班編制等を踏まえ出動者を決定 →建政課へ報告 ●出動時期等をOCA事務局と協議 	<ul style="list-style-type: none"> ●要請に基づき、派遣先、出動人員をを決定 →建政課へ報告 ●出動時期等をBEGと協議 ●必要機材等の準備 ●被災事務所担当者と作業内容確認
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ●部内支援者【Lv1】の活動開始 ※当該時期の支援者は主任クラスまでを想定 	<ul style="list-style-type: none"> ●部内支援者【Lv1】の活動開始 ※当該時期の支援者は主任クラスまでを想定 ※主に災害復旧事業以外の現場対応に従事 	<ul style="list-style-type: none"> ●部内支援【Lv1】を踏まえ、主に査定関連以外の状況把握を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●出動に関する必要機材等の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ●被災箇所の抽出調査を実施 →対象は管内全河川 →ゼンリン等を用い位置図作成 →概略延長の把握、写真撮影 (必要に応じてポンチ絵作成) ※概ね3～4日程度で完了
4日目					
5日目					
6日目					
7日目			<ul style="list-style-type: none"> ※当該期間内において、随時、砂防ボラティアやTEC Force等の活動実施 ※状況調査以外にも国や議会関連等の視察や調査も随時実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●OCAの被災箇所抽出を受け 災害申請の是非、起終点決め、概略工法検討、改良復旧の是非等を検証 →調査コンサルが同行し杭や旗を設置 ※概ね3日程度で完了 	<ul style="list-style-type: none"> ●調査結果を踏まえ、BEG調査に同行 →現場へのアテンド →BEG調査の状況把握 →起終点杭の設置など
8日目					
9日目				<ul style="list-style-type: none"> ●調査結果を整理し事務所報告 	
10日目		<ul style="list-style-type: none"> ●災害報告《第1報》×切【河川課】 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害報告【第1報】ペガサス入力 		

大規模災害発生時における初動対応タイムライン（案）

R2.3.13 企画調査担当課長会議資料

	土木建築部		土木事務所	防災エキスパート (B E G)	大分県測量設計 コンサルタンツ協会 (O C A)
	建設政策課	各事業課・未被災事務所			
11日 以降	<ul style="list-style-type: none"> ● 査定までの業務を踏まえ 部内支援【Lv2】 体制の検討（係長級、補佐級を対象） ● 査定に向け各事務所で不足する受託者の確保 →OCAと協議調整 	<ul style="list-style-type: none"> ● 部内支援【Lv2】 の派遣者確保【各課・各事務所】 ● 査定までのスケジュール調整し各事務所に対して周知【河川課】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害報告を踏まえ、査定に向け測量設計の委託の発注準備 ● 管内コンサルを軸に不足分の管外調達に向け建政課に調整依頼 		<ul style="list-style-type: none"> ● 査定に向けた測量設計の受託に向け被災事務所における協会の状況を踏まえ 応援態勢を検討 →応援態勢を確保し建政課と協議 ● 応援態勢を整理し受託可能者を選定し、被災事務所に報告
∩		<ul style="list-style-type: none"> ● 部内支援【Lv2】 の活動開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害査定に向け、測量設計委託発注 ※受託可能者の報告を踏まえ指名選定 		
1ヶ月後		<ul style="list-style-type: none"> ● 災害報告《確報》〆切【河川課】 ※箇所数確定、金額上限確定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害報告【確報】ペガサス入力 		
∩			<ul style="list-style-type: none"> ● 目論見入力、箇所酢作成 ● 査定設計書作成 		
2ヶ月以内		<ul style="list-style-type: none"> ● 災害査定開始【河川課】 ※2ヶ月後から随時実施 			
∩	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害対応業務の発注支援に向け 部内支援【Lv3】 体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 部内支援【Lv3】 の派遣者確保【各課・各事務所】 			
6ヶ月～1年 程度		<ul style="list-style-type: none"> ● 部内支援【Lv3】 の活動開始 			

※上記タイムライン案は、防災エキスパート技術者制度や大分県測量設計コンサルタンツ協会が土木建築部と締結した大規模災害発生時の支援に関する協定の実効性を高めるため、大規模災害発生が発生した際の災害初動調査を時系列に整理したものである。

※タイムライン案は、初動調査時の一例であり、各セクションの動きは状況に応じて柔軟に対応するものとする。

※防災エキスパート技術者やコンサルタンツ協会は、上記タイムラインを参考として大規模災害の発生が予測される際は万全の対応が図られるよう準備を行うものとする。

※土木建築部及び各土木事務所にあつては、上記タイムラインを参考とし防災エキスパート技術者制度やコンサルタンツ協会との防災協定を有効に活用することとする